

①獨逸の兵員不足と南米攻勢計画

最近終始戦況機勢回を激しありたるソ獨逸は獨逸女子軍編成等となし獨逸の兵員不足を傳へ或は南米對獨逸機勢微妙なるに際し獨逸の南米攻勢準備等を激し貫徹的なる又獨逸傳行のあり

△ヒスタワ電報 二月十五日

(ベルン電) ベルリンからベルンに傳來したスイス技師の談は次の如くである

「ドイツでは軍需補充の必要が甚大してゐるので獨逸に女子軍大部隊の派遣を準備してゐる。則ち數ヶ月前からドイツの女子に對して電報宣傳が開始され昨十二月十六日のアングリフ紙は次の如く論じた『第一次世界大戦の時と同様にドイツの女子は戦線に立たねばならぬ、男子兵士と共に戦線深く進入して行動せねばならない。每人はドイツの女子が軍務に參加することを要求する』しかしてドイツの軍需局長は女子部隊の編成を開始してこの目的の爲めに多額の女子空軍訓練員は兵營に送られ、そこで女子軍が形成され訓練されてゐる、私がケルンで女子空軍訓練舎の附近を通つた時隊の軍服を穿た女子隊が操兵場を繞つて行進してゐるのを目撃した彼等は親身發士官の指揮に従つてゐた。

△ジユネーヴ電報 (タス通信) 三月十六日

最近フランスから獨逸に到着した獨逸飛行場建設技師は次の様に語つてゐる

「ポルドーとブレスト近郊にある運用飛行場には秘密裡に飛行場建設が設立されて居り、ドイツはここで南米の港灣及び海軍基地に對する攻撃に備へて飛行場を建設してゐる。これ等の飛行場は表面は極普通の獨逸軍の一般隊で「西方部隊」と言ふ同種は別名で呼ばれてゐるが、實際は直接獨逸最高司令部とゲスタポと密接聯繫に連絡する完全に獨立した飛行場訓練所である。是等の訓練所の教官及び助教は皆ドイツのラチ航空団社に卷取してゐた経験のある獨逸飛行家の選り抜きで、大抵皆航空団社に南米沿岸飛行の準備者達と云はれてゐる。訓練は主として爆撃、高度飛行から奪下傘降下、空中機影、南米沿岸地帯の詳細な研究ならびに重要軍事、工業施設の偵察等決定におかれてゐる。またポルドー近郊の訓練所では西阿の飛行基地から南大西洋上の諸島を攻撃する飛行士も養成してゐる。

②獨逸華裔救済に重慶急務

最近獨逸は獨逸華裔救済に關し萬全の措置を講じあり、重慶の對華華裔救済の積極化は生慮すべきなり

△重慶電報（中央通信） 三月十五日

中央政府から一千万元の特別支出を得て廣東省假政府は香港とその他の日本軍の進出の成
しい場所から逃れ地へ避難して来た華僑救済のため萬全の策を講じてゐる、すでに七十餘の
救済所が廣東の各地に設けられ難民の世話がなされてゐる、香港だけからでも約百萬人の
華僑が逃れ地へ逃げて来てゐる、更に五十萬の華僑がシンガポールやその他の南方地域から
廣東に歸つて来るものと思はれる、二月十五日迄五十萬以上の華僑が廣東省に到着した、
廣東省銀行は緊急救済費として五十萬元を支出した、同銀行が海外へ送つて来た家産救
済のための借費もすでに取られてゐる、政府銀行のカルカッタその他の外國都市支出とも
同様に華僑に外國為替を供給するやう打合せしてゐる

◎日獨不和と米の謀略攻撃

△サンフランシスコ電報 二月十六日

各方面の情勢を綜合するに東京、ベルリン間の不和對立が深刻化したことが明瞭となつた
この日獨間の不和は獨逸の終幕を告げる号鐘の鳴るのを早めるものである、日獨間には日

本電が占領した關領印度の經濟支配に關して意見の對立を生じたものと思はれる即ち明かにドイ
ツの鼻のかかつてゐる和蘭ナチスが國內ラヂオを通じて和蘭國民に呼びかけ次の様に放送した
「竊印度が日本に占領されたことは襟度をもつ和蘭の國民全部にとつて深い恥辱であること。こ
の放送者は事前にドイツ小務省殖民部常局と打合せしてゐることは明瞭である